

## はやちう通信 No.5

今、カナダのカムループスにある「Thompson Rivers University」という広大な敷地面積の大学にきています。ここで3年生の18名が3週間の留学プログラムを体験しています。もうすぐ、プログラムの半分が終わろうとしています。全員とても元気に学んでいます。(^^)



8月6日の午後、成田空港に集まった生徒たちは、校長先生を始め、たくさんの先生に見送られて元気に出発しました。成田からバンクーバーまで9時間飛行しさらにプロペラ機で45分を費やし、カムループス空港に到着！大学職員である木村理加さんと、彼女が仲介してくださったホストファミリーが温かく出迎えてくれました。(^^)

ホームステイは基本的には2人1家庭で、今回は女子2人だけ1人1家庭になりました。朝食はシリアルやフルーツなどの軽食、昼食はサンドイッチやパスタなどのお弁当、夕食はそれぞれの家庭で工夫を凝らした食事で、どの生徒もとても満足しています。週末は家族と外出したり、仲間と待ち合わせてショッピングなどに出掛けます。カムループスは田舎町で治安がとても良く、また21時くらいまで外が明るいので、中学生にも安心な場所です。(^^)

8月7日からいよいよ授業がスタート。今回の夏期プログラムに参加した56名の生徒全員が集まって、オリエンテーションが開かれました。



参加者の国籍は、イタリア・ロシア・メキシコ・中国(台湾も)・ウクライナなど多国籍です。年齢層は大学生・短大生が最も多く、高校生や、中には定年後の勉強として参加している方も。まさに多文化の渦中です。

8日から2日間は、名前順で4つのクラスに分けられ、それぞれのクラスで国際比較文化に関する授業がありました。そして試験も。正直に言って、中学3年生には難解な内容ではありましたが、どの生徒もついていこうと頑張りました！他の国の人と話し合うのは初めてですが、周囲も優しく対応してくれます。また、午後にはチームごとにダウンタウンツアーに出掛け、大学から提供されたメキシカン・レストランでの軽食を仲良く楽しみました。



10日からのレッスンは語学レベルで分けられ、中学生はジータ・ジェイコブ先生による、ランゲージ・レッスンが行われることになりました。また、選択授業はシャノン先生が担当してくださることになりました。以前よりも授業はゆっくりと丁寧に進められますが、それでも普段接しているネイティブ教師とは全然違うレベル(当然日本語は理解不能)のため、何をどうすれば良いか聞き取れないことも多く、仲間と助け合いながら取り組んでいます。

いよいよ13日から第2週目です。週末をホストファミリーとそれぞれ楽しんで、また厳しい授業が始まります。ただ、生徒たちの顔はみんな元気で、体調を崩している人はいません。午前の授業が終わった後、11日には「Native Artwork」がありました。カナダ先住民の講師を2人招いて、悪い夢を防いでくれる「ドリームキャッチャー」を作りました。優しい先生たちの指導の下、色とりどりの糸や羽を使って、素敵な作品ができあがりました。みんなの作品を並べて記念撮影です。(^^)/



14日の午後には、「インドア・ロッククライミング」に行きました。高さが20メートルくらいあるカラフルで広い壁には、いくつもの突起物があり、それを使って上に昇ります。そこには初心者コースから上級者コースまで、たくさんの種類が用意されていて、生徒たちは自分の好きな壁にチャレンジしました。なんと女子の中にも上級コースにチャレンジする猛者も。思いの他の楽しさに、みんな大満足でした。



15日は小旅行の日です。いつもよりも早い時間に集まってAチームの人たちと一緒にチャーターバスに乗り込みます。30人の生徒と先生たちを乗せたバスに揺られること約1時間半、広大な湖の畔にある「North Barriere Lake Resort」に到着。全員で「カヤック」の準備をした後は



2つのグループに分かれます。「カヤック」は1人乗りのボートで、初心者でも安全に乗ることができます。もう一つのグループは、ホットドッグが焼き上がるのを待ちながら、広場でサッカーやバレーボールを楽しみました。食後にはカナダで有名な「スモア」というマシュマロのお菓子をほおばりました。さらに2チームが合体し、水遊びをしたり写真撮影、水上バイクに引かれて湖を疾走したりしました。



このような感じで、朝早くから一日中大盛り上がりだったため、バスの中は、とても静かな「お昼寝タイム」となりました。(\*\_\*)



以上で前半が終了です。後半も無事に過ごせるようにみんなで頑張ります。(^\_^)v

### 【授業風景など】



### 【集合写真&男子の昼食風景】

